

協会けんぽ健康診断検査項目一覧（差額ドック）

◎通常コース(協会[一般])を差額ドックにアップグレードすると黄色の部分の検査項目が追加となり、より充実した検査になります。

検査項目		協会[一般]	人間ドック (差額ドック)	検査説明
基本	問診・内科診察	●	●	問診票を元に医師が問診、内科診察を行い、あなたの健康状態を調べます。
	身体計測	●	●	身長、体重等を測定し、身体情報を調べます。
	視力	●	●	5mの遠距離視力を測定します。
	聴力(1000Hz, 4000Hz)	●	●	1000Hzの音(会話領域)と4000Hz(高音領域、難聴)を行います。
	腹囲	●	●	メタボリックシンドロームを見つける測定の一つです。
尿検査	尿一般	●	●	尿を検査する事により尿路や代謝等の異常を調べます。
	尿沈査		●	尿の沈殿物を観察して腎臓や膀胱などの異常を調べます。
循環器	血圧	●	●	心臓が血液を送り出すときの血管への圧力を測ります。
	心電図	●	●	心臓の異常(心筋梗塞や不整脈の有無など)を調べます。
呼吸器	胸部X線	●	●	胸部疾患(気胸・肺炎・肺結核・肺がんなど)や心肥大の有無を調べます。
	肺機能		●	肺の機能を調べます。気道や気管の状態を調べます。
眼科	眼底(両眼)		●	高血圧・動脈硬化・糖尿病等による小さな血管の変化がわかります。
	眼圧(両眼)		●	眼内の圧力です。高値では緑内障、低値では網膜剥離が疑われます。
腹部	腹部超音波(腹部エコー)		●	超音波(エコー)をあて、肝臓・胆嚢・膵臓・脾臓・腎臓などの状態を調べます。
消化管	便潜血検査(2回法)	●	●	大腸から肛門までの出血の有無を調べます。
	胃部X線検査(食道・胃・十二指腸)	●	●	造影剤のバリウムを飲んで胃の形や粘膜等を撮影し、胃の状態を調べます。
血液一般	赤血球	●	●	細胞へ酸素を運ぶ血球です。高値で多血症など、低値で貧血などが疑われます。
	白血球	●	●	細菌などから体を守る血球です。高値で炎症など、低値で造血機能低下が疑われます。
	ヘモグロビン(血色素)	●	●	赤血球中の酸素を運ぶタンパク質成分です。低値で貧血が疑われます。
	ヘマトクリット	●	●	血液中の赤血球の割合を示したものです。主に貧血の有無を調べます。
	血小板		●	血液の凝固を助け、出血を止める役割を持っています。
	MCV・MCH・MCHC		●	赤血球・血色素・ヘマトクリットを元に計算して、貧血の種類・原因を判別します。
	ABO式・Rh式血液型		●	血液型を検査します。(初回のみ実施)
肝機能	GOT(AST)	●	●	心臓、筋肉、肝臓に多く存在する酵素です。高値だと心筋梗塞、筋肉疾患などが疑われます。
	GPT(ALT)	●	●	肝細胞に多く含まれている酵素で、高値だと肝臓疾患が疑われます。
	γ-GTP	●	●	肝疾患、アルコール摂取による肝障害などで高値を示します。
	総ビリルビン		●	胆汁色素の成分です。血液中に増えると肝臓・胆道疾患が疑われます。
	LDH(乳酸脱水素酵素)		●	全臓器に存在し組織破壊で数値が上がります。肝、心疾患・悪性腫瘍が疑われます。
	ALP(アルカリフォスターゼ)	●	●	肝疾患や肝道系の障害で異常値を示します。
	総蛋白		●	全身の栄養状態を表すと共に、肝臓や腎臓の機能異常、免疫疾患などで変化します。
	アルブミン		●	血中の水分バランスを保つ働きをしています。脱水症状や肝硬変などで変化します。
脂質	A/G比		●	肝臓・腎臓・免疫疾患・栄養不足などで数値が変化します。
	総コレステロール	●	●	血液中に含まれる全てのコレステロールを測定した総量です。
	中性脂肪(TG)(トリグリセリド)	●	●	体内の中でもっとも多い脂肪で、糖質がエネルギーとして脂肪に変化したものです。
	HDLコレステロール	●	●	善玉コレステロールと言われ、LDLコレステロールを肝臓へ回収します。少ないと、動脈硬化を進行させます。
	LDLコレステロール	●	●	悪玉コレステロールと言われ、多すぎると血管壁に蓄積し、心筋梗塞などを起こす危険性を高めます。
糖尿病	non-HDLコレステロール	●	●	動脈硬化を引き起こす全てのコレステロールを表します。高値だと生活習慣病が疑われます。
	空腹時血糖(グルコース)	●	●	空腹時の血中のブドウ糖を調べる検査です。高値で糖尿病が疑われます。
膵機能	HbA1c	●	●	過去1~2ヶ月の血糖の平均的な状態を反映します。
	アミラーゼ		●	主に膵臓の異常を調べる指標です。
腎機能	尿素窒素		●	尿素に含まれる窒素成分で肝臓・腎臓などの機能障害を調べます。
	クレアチニン	●	●	尿として排出されていない老廃物の数値を調べ、腎機能の異常を調べます。
	e-GFR	●	●	クレアチニン値を性別、年齢で補正して算出します。低値だと腎臓機能の低下が疑われます。
痛風	尿酸	●	●	尿酸の産生・排泄のバランスがとれているかを調べます。高値だと高尿酸血症が疑われます。
炎症	CRP		●	体のどこかに炎症が起こると高値を示します。
肝炎ウイルス	HBs抗原		●	B型肝炎ウイルスへの感染を調べます。
	HCV抗体		●	C型肝炎ウイルスへの感染、もしくは感染歴の有無を調べます。